

日英教育学会 JAPAN-UK EDUCATION FORUM NEWSLETTER No.45 2015/7/17	日英教育学会事務局 〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町 35 京都女子大学発達教育学部 谷川研究室内 TEL 075-531-7283 tanigawa@kyoto-wu.ac.jp
--	--

日英教育学会第 24 回大会のご案内

【会場】

専修大学 生田キャンパス 9号館 (120年記念館) 2階

〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田 2-1-1

【大会スケジュール】

9月4日 (金)

15:00 – 17:00 運営委員会 (92B 会議室)

17:00 – 18:00 公開企画打ち合わせ (92B 会議室)

9月5日 (土) 9:30 受付

10:30-12:30 公開企画 第1部・講演会 (92A 会議室)

教育破綻からの再生: 失敗自治体の学校教育再生プロジェクト

権限剥奪・民営化された教育委員会: ロンドン・ハックニー区のラーニング・

トラストによる教育改革

ロンドン・ハックニー区子ども若者政策共同長官・

全国子ども政策担当局長連合会前会長 アラン・ウッド(Alan Wood) 氏

13:30-17:10 公開企画 第2部・シンポジウム (92A 会議室)

《テーマ》 **地方の教育改革とアセスメント**

—失敗自治体の教育再生プロジェクトとその評価—

17:30-19:30 懇親会 9号館5階 「キャビン」

9月6日 (日)

9:00-11:20 個人研究発表 (92A 会議室)

11:30-13:00 総会 (92A 会議室)

【交通アクセス】

最寄駅 小田急線 向ヶ丘遊園駅

新幹線の場合:

- ・ 東京または品川から新宿へ、小田急線急行で 20 分、
- ・ 新横浜から町田へ、小田急線急行で 15 分
- ・ 向ヶ丘遊園駅（小田急線）北口より [「専修大学前」行きバスで約 10 分](#)
→専修大学 120 年記念館前下車（終点まで行かずにここで降ります）トンネル抜けて右側
- ・ 向ヶ丘遊園駅（小田急線）北口より [「聖マリアンナ医科大学」行きバスで約 10 分](#)
→専修大学 120 年記念館前下車 トンネル抜けて右側
- ・ 向ヶ丘遊園駅（小田急線）北口より [「あざみ野」行きバスで約 10 分](#)
→専修大学 120 年記念館前下車 トンネル抜けて右側

「120 年記念館前」バス停で下車し、向かい側のトンネルを抜けると、右手に 9 号館があります。上記バスの各路線は、1 時間にそれぞれ 3 本程度ですが、バス停は隣接していますのでどの路線にもお乗りいただけます。



禁煙

キャンパス内の建物内は全面禁煙です。また、敷地内は指定された場所以外での喫煙は禁止となっております。ご協力をお願いいたします。

【近郊の宿泊施設】

各自でご手配をお願いいたします。

新百合ヶ丘（シティホテルあり、「向ヶ丘遊園」駅から急行1駅7分）

町田（ビジネスホテル、シティホテル多数あり、「向ヶ丘遊園」駅から急行2駅15分）

新宿（ビジネスホテル、シティホテル多数あり、「向ヶ丘遊園」駅から急行5駅20分）

【昼食】

夏季休暇中のために学食は開いておらず大変ご不便をおかけいたします。会場の周辺には、コンビニエンス・ストアはありますがレストランなどはありませんので、駅周辺であらかじめご用意いただくことをお勧めいたします。

書籍販売

書籍販売をご希望の方は、大学への申請が必要となりますので、7月25日までに広瀬 (hirose@isc.senshu-u.ac.jp) までお知らせください。

《大会参加費》 1000円（一般）、500円（学生）

《懇親会費》 5000円（参加人数により変更することがあります）



【 公 開 企 画 】 9月5日(土)

教育破綻からの再生: 失敗自治体の学校教育再生プロジェクト

権限剥奪・民営化された教育委員会: ロンドン・ハックニー区のラーニング・トラスト
による教育改革

《企画趣旨》

1990年代末に破綻自治体と認定されたロンドンの貧困地域ハックニー区で、中央政府肝いりの教育再生プロジェクトが始まった。

中央政府はハックニー区の地方教育当局(LEA)を閉鎖し、その全権限を民間組織に移管した。LEAの包括的「民営化」だ。その民間組織「ラーニング・トラスト」を率いて緻密な再生プロジェクトを成功させたのが同トラストのCEであったアラン・ウッド Alan Wood である。

教育行政に私的セクターが関与することには、賛否を含めて多様な見解がある。私的セクターの関与によって生じる問題も懸念される。ただ、ハックニー区の場合は、この方法によって教育は顕著に改善した。そして、そのノウハウは他の地域でも参考にされるようになっている。

アラン・ウッドが率いたラーニング・トラストが担ったプロジェクトは、具体的に何に注目してどう進められたのか。成否を左右するカギはどこにあったのか。学校との関係は、教員との関係は、そして地域との関係は。

その舞台裏に至るまで、全貌を明らかにしたい。

10:30-12:30 第1部・講演会 9号館(120年記念館)2階 92A会議室

(企画趣旨)

自治体教育行政(LEA)によっては改善不可能だったハックニー区の教育を、教育行政機能をテイク・オーバーした民間組織ラーニング・トラストは、一体どのようにして教育を再生させたのか。その実際について、改革を具体的にリードしたウッド氏に詳細にわたっておうかがいする。

《講演タイトル》

教育破綻からの再生: 失敗自治体の学校教育再生プロジェクト

権限剥奪・民営化された教育委員会: ロンドン・ハックニー区のラーニング・トラストによる教育改革

司会・コーディネータ: 広瀬裕子(専修大学)

講演者: アラン・ウッド(Alan Wood)

(ロンドン・ハックニー区子ども若者政策共同長官・全国子ども政策担当局長連合会前会長)

和訳ペーパー付き (英語講演資料和訳 吉原美那子(高崎経済大学))

通訳 中島千恵(京都文教大学)・小口功(近畿大学)

13.30-17:10 第2部・シンポジウム 9号館(120年記念館)2階 92A会議室

《テーマ》 地方の教育改革とアセスメント

—失敗自治体の教育再生プロジェクトとその評価—

(企画趣旨)

ウッド氏がリードしたハックニーの教育改革についての概要を確認して、その改革についての質的検討を行う。さらには、そこで使われた手法のうちハックニー独自に有効なものを切り分けながら、他の地域の教育改革に応用しうる知見の汲み出しを行う。

司会： 小松郁夫(流通経済大学)

スピーカー： アラン・ウッド

和訳ペーパー付き (英語講演資料和訳 吉原美那子(高崎経済大学))

指定討論者：

木岡一明(名城大学) 「教育評価および教育改善施策の観点から」

山下晃一(神戸大学) 「日本と米国における教育改革との比較の観点から」

コメンテーター： 広瀬裕子(専修大学)

通訳： 中島千恵(京都文教大学)・小口功(近畿大学)

【自由研究発表】 9月6日(日) 9時00分～11時30分

9号館(120年記念館)2階 92A会議室

1. 平阪 美穂 (京都聖母女学院短期大学) 9:00～9:35
「スコットランドにおける保護者の学校運営参加への支援(仮)」
2. モリス・ジェンキンズ 9:35～10:10
「日英初等中等教育の発展を不平等の観点から分析」
3. 永田 喜裕 (名古屋大学大学院) 10:10～10:45
「英国の教育政策形成における監査委員会の役割」
4. 山崎 智子 (福井大学) 10:45～11:20
「1900年代イングランドにおける市民大学設立の意義
—「大学」概念の変容という視点からの考察—」

紀要編集委員会より

現在編集委員会では大会時での配布を遵守すべく、次号の編集作業に努めております。ご協力いただいた皆様には改めて御礼申し上げます。

学会活動および紀要の中心となるべき研究論文の投稿は昨年度と同じ1本に留まりました。大会時における発表はもちろん、研究論文の執筆・投稿の活性化は学会の充実・発展に欠かせません。会員の皆様による積極的な投稿をお願いいたします。

学会運営委員会での議論を踏まえた新たな取組みとして、本号では近年の英国国内での急速な中等教育改革動向についての小特集を設定いたしました。次号以降でも新たな取組みを考えてみたいと思っておりますので、今後取り組むべき活動・論点等につきまして御意見をいただけますと幸いです。

紀要の投稿規定は学会サイトにも掲載されております。投稿をお待ちしております。

(沖 清豪)

紀要電子化事業 進捗状況について

去る2月23日付の本学会HPでもお知らせしたとおり、これまで本学会が刊行した紀要の全PDF化作業は終了しております。現在、創刊号(1997年)から最新18号(2014年)まで、すべて本学会HP上にて閲覧・ダウンロード可能です。ただし、最新18号については、閲覧・ダウンロードにはパスワードを付与しております。これは、会員と非会員の差別化のための措置です。

しかし、先日開催された運営委員会で、このようなクローズな措置は、せっかく紀要に掲載された論文が大勢の目に触れる機会を逸することになり、かえって会員(投稿者)の不利益をもたらすのではないかと、という意見が出されました。加えて、国立研究開発法人 科学技術振興機構が運営する論文検索サービスJ-STAGEへの搭載がかなった暁には、最新号にパスワードをかけることは技術的に難しいとのことで、この際、以上のような運営方針は変更したほうがいいのか、という結論に至りました。そこで次回の総会では、ぜひこのような運営方針の変更をご承認いただき、次号(19号)より全文掲載・公開に踏み切りたいと思います。

なお、11月末から本運用が予定されているJ-STAGEへの搭載は8月1日より受付が開始されます。現在、その準備を整えているところです。搭載が決定し、利用可能となった暁には、HPおよび次号のNLでお知らせいたしますので、もうしばらくお待ちください。

(宮島 健次)

「英国の教育」(仮称)の発刊について

昨年度の総会で承認されました『英国の教育』(仮称)の発刊について、編集委員会の準備が整い、現在、下記のとおり進められています。今後、編集委員会から執筆者の募集・依頼があります。本学会にとっても社会的な役割を意味づける重要な事業と考えています。どうかご理解、ご協力のほどお願いします。詳細は大会でご報告します。

1. 趣旨 【英国研究者がわかりやすく解説した英国教育に関する一般書】

現代英国の教育について総合的に理解できるよう解説し、これに関心をもつ研究者に最新の情報を提供するとともに、英国教育を研究する若手の育成に寄与することを目的としている。併せて英国の特色ある教育に興味をもっている市井の人々の疑問にこたえ、関心を持ってもらえるよう配慮する。

2. 特色

- 1. イギリスの教育のしくみはどうなっているのか、その特色は何か
- 2. イギリスの教育はどこに向かっているのか
- 3. 日本の教育へのヒントはどこにあるのか

3. 編集委員

青木研作(西九州大学)、石黒万里子(東京成徳大学)、高妻紳二郎(福岡大学)、
清田夏代(南山大学)、宮島健次(西武文理大学)

4. 刊行予定 2016年12月末

(谷川 至孝)

運営委員会報告

2015年3月24日、専修大学神田校舎にて2014年度第三回運営委員会を行いました。概要は次のとおりです。それぞれの詳細については、本ニューズレターの別項をご参照ください。

- (1) 学会紀要について
- (2) 2015年度大会について
- (3) 『英国の教育』(仮称)出版について
- (4) その他
 - ・教育関連学会連絡協議会総会について
 - ・NLの国会図書館への寄贈
 - ・名誉会員制度の創設について

(谷川 至孝)

学会会費をお支払ください

2015 年度会費をお支払ください。

また、過年度会費未納の方につきましては、併せてお支払いをお願いします。

三カ年会費未納の方は、除籍されます。

くれぐれもご注意ください。

紀要の原稿を募集しています

学会紀要『日英教育研究フォーラム』20号（2016年9月発行予定）の自由投稿論文を募集しています。締め切りは2016年4月末日、提出先は以下のとおりです。

「日英教育研究フォーラム紀要編集委員会」 kiyou@juef.sakura.ne.jp

〒162-8644

東京都新宿区戸山 1-24-1 早稲田大学文学学術院 沖清豪研究室気付

執筆要領につきましては、紀要18号の『日英教育研究フォーラム』論文投稿規定をご参照ください。

また、「書評」でとりあげる図書も募集しています。自薦、他薦を問いません。情報をお寄せください。

日英教育学会 (Japan-UK Education Forum)

代表 上田 学

◆事務局 〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町 35

京都女子大学発達教育学部・谷川至孝研究室

TEL 075-531-7283

◆問い合わせ先 青木研作 aokik@nisikyu-u.ac.jp (入退会等)

谷川至孝 tanigawa@kyoto-wu.ac.jp (会計等)

上田 学 manabu-ueda@cs.kinran.ac.jp

◆郵便振替 00170 2 780381 日英教育学会

◆三井住友銀行 武蔵関支店 総合 6651815

日英教育研究フォーラム事務局長 谷川至孝